

上天草市議会

令和8（2026）年 2月 12日

議長 嶋元秀司 様

上天草市の食と健康を考える会

会長 平山明広

他 名

請願趣旨

事務局 上天草市大矢野町中673

学校給食無償化に向けての給食の量、品質がおろそかにならない為の採択を求める請願書

紹介議員

「食べたもので体は作られる」健やかな子ども達の成長を願う私たちの会ですが、その為には学校給食も安全な良質な食材を使ってほしいと活動しています。そう願う団体は熊本県下、全国にたくさんあり活動しています。学校給食法第2条1項には「適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること」とあります

令和8年4月より、公立小学校を対象に、国が全国一律で進める方針として給食無償化を示しています。保護者の所得に関係なく、全国一律での実施が決定しており、児童1人当たり月額5200円程度を支援していく方針としています。

物価高騰が叫ばれる昨今、喜ばしい一報であると共に、無償化の流れにより、①調理過程の効率化や経費削減②給食量の軽減③加工食品導入による品質の低下など、私たちの会を含め、子どもの成長や教育に関わる全国のあらゆる市民団体がこれらに懸念をしているのも事実です。

上天草市においては、現場で給食を作る栄養士さん調理師さんをはじめ、教育機関（学校・行政）、納品業者さん、親御さんとたくさんの方の努力で地産地消の食材を中心とした栄養面も量も理想的な献立作りや食の大切さを伝える食育活動が実現できています。私たち会としては今一度上天草市が給食を通して本気で子どもの健やかな成長を願っていることを給食無償化になんでも学校給食がおろそかにならず、今後も今以上になる事を 採択という形で表明していただきたいと思います。